

### 日立みらいイノベータープログラム 全4回の出張授業が全校終了

日立財団は、これからの理工系人材に求められる問題発見力や、課題解決力を育成するために、小学校5年生を対象としたプロジェクト型探求プログラムの「日立みらいイノベータープログラム」を開発しました。2016年より、日立グループ各社と連携し、出張授業を実施しています。

2022年度も、昨年度に引き続き、コロナ禍での実施となりましたが、教育現場は、コロナ以前の日常に戻つつあります。全4校のうち2校はオンラインの出張授業、残り2校は、感染対策に十分配慮し、対面で実施しました。



#### 戸田市立戸田南小学校

12月15日出張授業4回目  
(最終発表会)実施

中間発表に引き続き、講師6名はオンラインで参加し、最終発表会を実施しました。5年生全児童が体育館に集まり、緊張感のある最終発表会となりましたが、児童たちは、今まで調査してきたことや、前回の講師のアドバイスを生かして、堂々と発表していました。授業の最後には、教頭先生から5年生全員に「ブラボー!」のお言葉をいただきました。



#### 玉村町立上陽小学校

12月16日出張授業4回目  
(最終発表会)実施

出張授業4回目も、オンラインで実施しました。児童たちは体育館に集合し、チームでまとめた内容を発表しました。講師たちも、中間発表からの児童たちの成長に感動していました。最後には5年生全員にむけて校長先生から力強い応援メッセージをいただき、無事に出張授業全4回が終了いたしました。



#### 日立私立大みか小学校

1月17日出張授業4回目  
(最終発表会)実施

児童たちは、発表直前まで、資料の修正やプレゼンテーションの内容を確かめ合うなど最後まで妥協することなく、最終発表にのぞみました。最後まで力を出し切り、発表した児童たちに対し、5名の講師からお褒めの言葉と、今後に向けた具体的なアドバイスをもらい、児童たちの晴れやかな表情が、とても印象的でした。



### 多文化共生社会の構築

#### 多文化共生社会の構築フォーラム

### 「外国につながるの高校生の活躍する力」を拓く ～教育の実態が問いかける支援のあり方～ 講演録を公開



2022年12月10日(土)に開催した多文化共生社会の構築フォーラムの講演録を公開しています。ぜひご覧ください。

- 外国人児童生徒等教育に関する施策の充実 ～高等学校等における日本語指導の制度化について～  
文部科学省 総合教育政策局 国際教育課長 石田 善顕氏
- 「外国につながる生徒の教育機会保障と包括的支援に向けた東京都の課題と可能性」  
～都立高校79校の質問紙調査と30校のインタビューから～  
東京大学大学院 教育学研究科 教授 額賀 美紗子氏
- 神奈川県外国ルーツの学生が後輩のために作った「多文化ユースプロジェクト」活動報告  
OG・OBメンバーが後輩に伝える「日本での立ち位置と生き方」の共有



登壇前の多文化ユースプロジェクトの皆さま

●日立財団のウェブサイト

<https://www.hitachi-zaidan.org>

# News Letter Vol.45 / 2023.03

日立財団では、財団の活動情報を集めたニュースレターを発行しています。シンポジウム、セミナー、表彰式などの活動報告や、最新のトピックスなど、日立財団に関するさまざまなニュースをお届けいたします。ぜひご覧ください!

### 学術・科学技術の振興

#### 日立財団アジアイノベーションアワード 2022年度表彰式を開催



写真左から  
2020年度最優秀賞受賞者(ハノイ工科大学 Dr. Tan Minh Nguyen)  
2021年度最優秀賞受賞者(ベトナム科学技術アカデミー Dr. Thuy Phuong Thi Pham)  
2022年度最優秀賞受賞者(ガジャマダ大学 Dr. Sri Juari Santosa)  
2022年度最優秀賞受賞者(ホーチミン市工科大学 Dr. Phung Thi Kim Le)  
2020年度最優秀賞受賞者(インドネシア国立研究革新庁 Dr. Ajeng Arum Sari)

2023年1月10日(火)、日立財団アジアイノベーションアワード2022年度表彰式を東京で開催しました。日立財団アジアイノベーションアワードは、ASEANの社会課題解決と持続可能な社会実現に資する科学技術イノベーションを促進するために、2020年度より開始した表彰事業です。

新型コロナウイルス禍のため、これまで表彰式の開催を見送ってききましたが、このたび、2020年度、2021年度、2022年度の最優秀賞受賞者を日本に招待し、表彰式を開催しました。

表彰式当日は、各受賞者による研究概要発表も行われ、Q&Aセッションでは、選考委員や他の受賞者も交えた活発な議論が展開されました。表彰式後には懇親会を開催し、参加者同士の交流を深めました。

詳しい表彰式の様子は日立財団ウェブサイトをご覧ください。



研究概要発表の様子



懇親会の様子

倉田奨励金

## 2022年度 倉田奨励金贈呈式・研究報告会を開催

2023年3月2日(木)、日立製作所中央研究所 協創の森「日立馬場記念ホール」において、2022年度(第54回)倉田奨励金贈呈式を開催しました。今年度は全国より213件の応募があり、厳正な審査により決定した44名の研究者に対して贈呈しました。

倉田奨励金は、日立製作所第2代社長の倉田主税が提唱し創設した研究助成金で、グローバルな社会課題解決力を担う次世代の研究者による自然科学・工学研究、および高度科学技術社会に通底する人文・社会科学を研究対象とする研究助成金です。

贈呈式では、選考委員長の花木啓祐氏から今年度の選考経過報告があり、研究テーマの紹介とともに理事長からひとりひとりに贈呈書を手渡しました。また、式の最後には各部門・分野の代表者4名にご登壇いただき今後の抱負などスピーチいただきました。

今年度受領者44名の研究テーマ、研究概要はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics097.html>



受領者代表スピーチ

贈呈式に続いて、同会場にて研究期間を終えた受領者による研究報告会を開催し、代表者4名に研究成果を発表いただきました。

贈呈式・研究報告会閉会後は会場を移し、和やかな雰囲気の中、情報交換など交流を深めていました。この交流が皆様の研究の更なる発展につながることを願っています。

**発表1: エネルギー・環境分野 岡 弘樹氏 (大阪大学)**

ポリチオフェンによる可視光照射下でのカーボンフリーグリーン水素製造法の確立

**発表2: 都市・交通分野 曾我 昌史氏 (東京大学)**

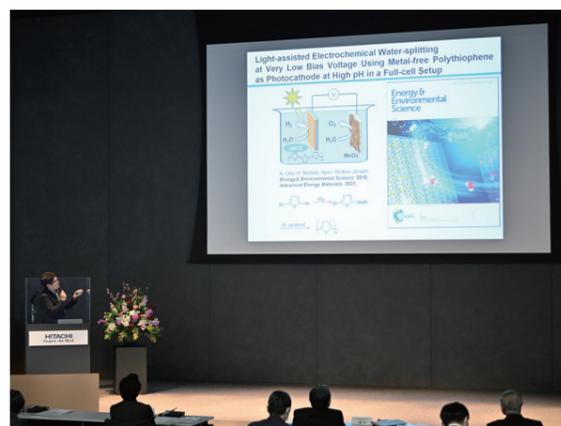
生物多様性・生態系サービスの保全に最適な都市開発 戦略の探索: 大規模フィールド調査およびシミュレーションによる検証

**発表3: 健康・医療分野 堤 新一郎氏 (理化学研究所)**

精神神経疾患の発症に関わる小脳神経回路基盤

**発表4: 人文・社会科学研究部門 種村 剛氏 (北海道大学)**

演劇を用いた科学技術コミュニケーション手法の開発および参加者の先端科学技術の受容態度の変容に関する調査



研究成果発表

日立感染症関連研究支援基金

## 第1回中間報告会を開催

2023年3月7日(火)、日立感染症関連研究支援基金第1回中間報告会を開催しました。

日立感染症関連研究支援基金は、COVID-19 禍への対処において顕在化したさまざまな問題をエビデンスに基づき学術的に調査、分析、考察し、その知見を国際的に共有することをめざす研究に対して助成するもので、2021年に、株式会社日立製作所ならびに同社役員や従業員、グループ会社役員からの寄付によって新設されました。

2021年4月から募集を開始し、選考委員会による審査を経て、同年11月に助成対象研究プロジェクト5件を決定、12月から研究活動がスタートしました。研究活動は、2024年11月末までの3年間を予定しています。

第1回中間報告会では、各研究プロジェクトの代表者が、これまでの研究活動と今後の活動予定を報告しました。報告後の質疑応答では、選考委員を含む出席者との活発な議論が行われました。



参加者記念撮影



第1回中間報告会の様子

## 第1回中間報告会

### 総合型研究

International Joint Study on Public Health Economics and Value Assessment of Prevention in Pandemic - Lessons learned from COVID-19 and evidence-based recommendations for future crisis

(パンデミックにおける公衆衛生経済学と感染症予防の価値に関する国際共同研究 - 新型コロナ感染症の教訓、および、将来の危機に対する科学的根拠に基づく提言)

●報告者: 東京大学 公共政策大学院 特任教授 鎌江 伊三夫氏 (研究代表者代理)

### 領域開拓型研究

Malaria eradication in the era of COVID-19 pandemic: a study integrating sociological, economic, and medical approaches to overcome the challenges in tropical Africa

(新型コロナウイルス感染症パンデミック下のマラリア根絶: 社会・経済学と医学の統合的アプローチを通じた熱帯アフリカにおける挑戦)

●報告者: 大阪公立大学 大学院医学研究科 寄生虫学分野 特任教授 金子 明氏

Covid-19 and Society: Comparative Analysis of Risk Communication, Expertise, and Citizenship

(COVID-19対策の国際比較分析〜リスクコミュニケーション、専門知、市民社会)

●報告者: 早稲田大学 政治経済学術院 教授 田中 幹人氏

Exploration of Practical Wisdom and Resilience Overcoming Downside Risk -Collecting grassroots voices in Africa under COVID-19

(ダウンサイドリスクを克服するレジリエンスと実践知の探究 - 新型コロナ危機下のアフリカにおける草の根の声)

●報告者: 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任講師 華井 和代氏

Implementing wastewater-based epidemiology in Asian communities to strengthen resilience against pandemics

(パンデミックへのレジリエンス向上のためのアジアにおける下水疫学調査の実装)

●報告者: 山梨大学 大学院総合研究部附属 国際流域環境研究センター 教授 原本 英司氏